



# NU-232 原子層堆積装置

サムコ製 AD-100LE

## 登録ファイル



**PDL (Process Data Log) ファイル ※必須です**

(以下より該当するPDLファイルをダウンロードし、  
**成膜条件を入力してください**)

<https://nanofab.engg.nagoya-u.ac.jp/data2.html>



**成膜後の試料画像など 必須ではありません**  
(ファイル形式 : .jpg, .png, .tiff)



## 添付ファイル



無し

## 原則、実施日毎の登録をお願いします。

- 一日に複数のサンプルを作製した場合は複数ファイルを同時に登録することを推奨します。  
試料番号を入れるなど後で識別できるファイル名で保存し、登録ファイルへ一度に登録してください。
- サンプルの内容が大幅に異なる場合は、別々に登録（連続登録）を行ってください。ユーザーの裁量で分け方を決めていただいて構いません。  
(連続登録 : データ登録マニュアル[5/7] )

## 【例】CoPt膜を2枚、GdFe膜を2枚作製した場合

- PDLをCoPt膜で2つ、GdFe膜で2つ作製します。(試料番号がわかるように)
- CoPt膜のPDLを2つ同時登録。GdFe膜のPDLは連続登録で2つ同時に登録します。

## 【成膜後、段差計NU-220,NU-261で測定を行った場合】

PDLへ段差計の測定値を入力し、登録するファイル名の末尾に、段差計の装置番号を入れてください。 (ファイル名の例 : 20251001○○の成膜\_NU-220測定)  
RDEデータ登録後に測定された場合は、以下までご連絡ください。



お問い合わせ [hata.chiharu.n5@mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:hata.chiharu.n5@mail.nagoya-u.ac.jp)

ARIM名古屋大学  
加工・デバイスプロセス分野  
データ登録担当：秦